

フルキサメタミド乳剤 グレーション乳剤	取扱メーカー： 日産 原体メーカー： 日産
成分： フルキサメタミド〔イソオキサゾリン系〕……………10.0% その他 PRTR 該当成分： ナフタレン〔PRTR・1種〕……………4.6% メチルナフタレン〔PRTR・1種〕……………11.6%	性状： 黄赤色澄明可乳化油状液体 毒性： 普通物 消防法： 第四類・第三石油類（非水溶性）・危険等級Ⅲ

【品目特性】……………

- 新規系統の殺虫剤であり、既存剤に対する感受性が低下した害虫にも優れた効果を示す。
- 対象害虫に速効的に作用する。
- 各種チョウ目害虫やアザミウマ類、コナジラミ類、ダニ類など幅広い害虫に効果が高い。
- 殺虫効果は長期間持続、約2週間害虫の加害を防ぐ。
- 葉内浸達性があり、葉裏の害虫も防除可能。
- ミツバチ、マルハナバチは翌日導入が可能。
- 耐雨性が高く、温度変化による効果変動が少ないため、様々な環境下で効果が安定している。
- 有効成分の特性は参考資料の「有効成分特性一覧表」を参照。

【使用上のポイント】……………

- 散布量は対象作物の生育段階、栽培形態及び散布方法に合わせ、調節する。
- 植物体への浸透移行性がないので、かけ残しのないように葉の裏表に十分に散布する。

【薬効・薬害等の注意】……………

- 天敵類に影響があるので、使用に際しては注意する。
- 水なす、賀茂なすの果実には薬害が生じるので使用しない。
- 適用作物（なす）の薬害などの注意は「薬害注意事項解説」を参照。
- 共通注意事項8．適用作物群に関する注意事項を参照。

【安全対策上の注意】……………

- 蚕に対して影響があるので、周辺の桑葉にはかからないようにする。
- 散布器具・容器の洗浄水及び空容器は適切に処理する。



作物名	適用害虫名	希釈倍数	10 a 当り 使用液量	使用時期 (収穫前)	本剤の 使用回数	使用 方法	フルキサメタミドを含む 農薬の総使用回数
ト マ ト ミニトマト	ハスモンヨトウ オオタバコガ コナジラミ類 アザミウマ類 トマトサビダニ トマトハモグリバエ	2000 倍	100 ～ 300 ℓ	前日まで	2 回以内	散布	2 回以内
ピーマン	オオタバコガ アザミウマ類 コナジラミ類 ハダニ類 チャノホコリダニ						
なす	コナジラミ類 アザミウマ類 ハダニ類 チャノホコリダニ ハスモンヨトウ オオタバコガ トマトハモグリバエ						
きゅうり	アザミウマ類 ハスモンヨトウ ウリノメイガ ハダニ類 コナジラミ類 トマトハモグリバエ						
すいか	オオタバコガ ウリノメイガ アザミウマ類 コナジラミ類 ハダニ類 ハスモンヨトウ						
メロン	アザミウマ類 コナジラミ類 ウリノメイガ ハダニ類	2000 ～ 3000 倍		14 日前 まで			
だいず	マメシンクイガ ハスモンヨトウ ハモグリバエ類 ウコンノメイガ オオタバコガ フタスジヒメハムシ						
豆 (未成熟、但し、 えだまめを除く)	ハスモンヨトウ ハモグリバエ類						
えだまめ	マメシンクイガ ハスモンヨトウ ハモグリバエ類 ウコンノメイガ オオタバコガ フタスジヒメハムシ			前日まで			

作物名	適用害虫名	希釈倍数	10 a 当り 使用液量	使用時期 (収穫前)	本剤の 使用回数	使用 方法	フルキサメタミドを含 む農薬の総使用回数
い　　ち　　ご	アザミウマ類 ハスモンヨトウ オオタバコガ ハダニ類	2000 倍	100～ 300 ℓ	前日まで	2回以内	散布	2回以内
茶	チャノコカクモンハマキ チャハマキ チャノキイロアザミウマ チャノミドリヒメヨコバイ マダラカサハラムシ ヨモギエダシヤク チャノホソガ チャトゲコナジラミ		200～ 400 ℓ	摘採14 日前まで	1 回		1 回
	サビダニ類 チャノホコリダニ		2000～ 3000 倍				
き　　　　　く	ハスモンヨトウ ハダニ類 オオタバコガ アザミウマ類	2000 倍	100～ 300 ℓ	発生初期	2回以内		
り　　ん　　ど　　う	リンドウホソハマキ ハダニ類 アザミウマ類						
ゆ　　　　　り	ネダニ類			—	植付前	1 回	30 分間 種球 浸漬